

令和7年度

中原小学校6年生

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名：
(活動名)

発信！わたしたちの町

ねらい：

- ・地域のお店や施設について調べたり、話を聞いたりしたことを発信する活動を通して、
 - (1) 地域の施設やお店で働く人々の思いに気付く。
 - (2) 自分の住んでいる町のよさについて考える。
 - (3) 学んだこと生かして、相手にわかりやすく伝えようとする。

【1学期】

『発信！わたしたちの町』

- 自分たちの住むまちにあるお店や施設について調べてみたい場所を話し合い、20のお店や施設に協力してもらい、実際にインタビューをして取材しました。
- 取材をしてまとめたことは、西東京市の友好都市である千葉県勝浦市の小学校3・5年生と、東京都大田区の小学生3年生に向けて発表することになり、発表相手に自分の住む町のよさをどのように伝えればよいかを考えることができました。
- 発表当日は、オンラインで教室を結び、遠く離れた相手に向けて町のよさを分かりやすく伝えることができました。また、発表を聞いた相手からコメントをもらうことで、西東京市のよさについて改めて気付くことができました。

【勝浦市の子供の感想】

勝浦にはパルコがないので、色々なお店に行ってみたくて思いました。



【2学期】

「発信！わたしたちの町」

- 1学期に発表をした西東京の友好都市の勝浦小学校の3年生、5年生の発表を聞き、勝浦市の魅力やよさを知ると共に、自分たちの住む町と比べることで、西東京市のよさについて改めて気付きました。

【子どもたちの感想】

- 友好都市である勝浦の有名な場所や食べ物がよくわかりました。
- 西東京市の給食で勝浦タンタンメンが出たので、発表を身近に感じました。

コラム

2年生のときに地域の町探検を行っている6年生。最高学年になり、改めて自分の住む町について調べ2年生の時とは違った視点でまちのよさを見付けることができました。遠くの町に住む小学生に向けて発表することで町のよさを伝えたいという思いがより強くなったのを感じました。